

C'est très bon! Vol.133

おいしいパンの通信

Boulangerie
C'est TRÈS BON
2015. 2.01
Kaori Onishi

今仕事が休みの日にフランス語の語学学校へ行っています。

1つのクラスに20人くらいが学んでいます。HLJ.42=ジエ.2=ジエ

トゴ、マリ、スーダン、コソボ、スリランカなど出身の国はそれぞれ違います。

生まれた国、育った環境、価値観、宗教はたて之違っても、人の心は一つにつながりてがてき

と改めて感じています。つたないフランス語でお互いの国のこと家族のことなどお昼や休みの時間

にみんなでお話します。この前お昼に持参したお弁当をしばらく広げないで他のことをしてると隣の人

が自分の持ってきたピザみたいなパンを私に分けてくれました。(そんなに多量量のパンだったのに

私が食べる物を持ってきてないと思て...) 今の優しさにと感動しました。期間が終了して学校を

去る時に自分の国のお菓子をお菓子屋で作りに来てクラスのみんなにふるまって別れを惜んだり、

移民してフランスに来てフランス語を学ぶという一つの目的の下に、様々な国の人が集まり、共に学び

共に笑い、絆を築き上げる。私は心からこの場所がすばらしいと思います。今世界では

様々な事件、紛争が起きていて人を傷めることも多いですが、共にゆずり合い、理解あり、

協力して人は生きてゆけるはずだと私はこのフランス語を学ぶこの場所で強く感じています。

この学校で初め数人に言われました。"あなたの笑顔すてきな。いいね!"と。|まほまは世界共通

なんだと改めて実感。言葉や心な壁を越え相手に伝わる一番大切にしていけないものなん

だなんて思いました。先日久しぶりに気分転換にパリに友人に会いに行きました。(最近休みの

学校なので、仕事でフランス語でちかちか気分もマヨイシましたので... 午後6時の授業をサボって...)

初めて私の住むシアルヒに雪が積もった朝でした。朝は寒くて雪がたこんぶりました。

パリも寒いので午後パリの空に大きな虹を見ました。そして次の日のシアルヒは雲ひとつない

青空の広がる快晴でした。なんて自然、すばらしいだろうと感じました。古くからあるジャンジエ

というお菓子屋さんへ行きました。今も行きたことはなかったのですが、昔は今有名な日本のパティシエ

が多く修行したという店です。この店をサミュエルアキの青木さんが権利を買って開いておられます。

この夜は友人と heige d'été (ネーゼエテ) というパリのリストランへ行きました。本気で

6月だそうでした。お客さんは日本人とフランス人が入り混じりとても和気さの雰囲気でした。

この料理はフランスのパリというより、日本で食べたパリのスタイルでした。少し量で品数

も多いです。味のセンスも仕事も...。もちろんとてもおいしかったのですが、一番おもしろい改めて

感じたのは、スタッフみんな日本人だったことです。キッチンもサービスも。フランスに来て

生活して働いて改めて日本という国の良さ、日本人の精神性の高さを感じています。もちろんフランス

の国の良い部分もたくさんあります。でも心から私が自分のプロジェクトを進めるにあたって

日本人の感性、仕事への精神性が一番強みとなることを改めて感じ、この日の夜改めて

私のやるパン屋もこのスタイルでいいなと強く感じました。パリの人気あるリストラン、パティシエでは

多くの日本人シェフが活躍しています。今はそういう時代です。この日友人と語り合い、感じたことは

がんばって前に進むと改めて思えた。1日となりました。